

○ 本校のミッション(使命存在意義)

- ◇ 豊かな心と学び続ける意欲をもった児童の育成
- ◇ 美星町の豊かな自然や文化を知ることを通して、郷土に誇りをもち貢献したいと思う児童の育成
- ◇ 教育・子育てのセンター的機能を果たす学校

○ 学校内外の環境分析

強 み	弱 み
○素直な児童が多く、学習態度が落ち着いている。 ○友達や異学年児童と協力して活動することができる児童が多い。 ○学区に幼小中が各1校園で連携が密である。 ○教育資源(自然・施設等)に恵まれている。 ○地域行事や公民館活動等が活発である。 ○教育に協力的な保護者や地域住民が多い。	●自分の考えを、自信をもって発言できにくい児童がいる。 ●メディアコントロールができず、就寝時刻が遅くなる児童がいる。 ●バス通学の児童が多く、基礎体力が不足している。 ●単学級のため人間関係が固定化しやすい。

○ ミッションの追求を通じて実現しようとする本校の学校経営ビジョン(将来像、目指す姿)

- [教育目標] 豊かな心とふるさとへの誇りをもち、たくましく生きる美星っ子の育成
- [校 訓] やりぬく力(やりぬく学び、やりぬく心、やりぬく身体の実現)
- 1 児童にとって、行きたい学校(魅力ある学校・自己有用感を育てる学校)
 - 2 教職員にとって、働きたい学校(心身ともに健康でやりがいを感じる学校)
 - 3 保護者や地域にとって、安心して行かせたい学校(信頼される学校・地域とともにある学校)

○ 当該年度の具体的な学校経営目標・計画

何のために学ぶのか、学びを通してどんな自分になりたいのかを意識した教育活動を展開する。

1 わかる授業・できる授業を創造し、自己表現力の伸長を図る。

- ・校内研究を中心とする組織的な授業改善と相互授業参観(各学期に1週間程度)の実施
- ・基礎・基本の確実な定着(特に国語科と算数科)
- ・アウトプットする力の育成(話し合い活動、学び合い活動の充実)

2 思いやりの心をもち、共に助け合い高め合う集団の育成を図る。

- ・あいさつの奨励(学校・家庭・地域、児童会、学級)
- ・道徳教育の充実とピアサポート活動(縦割り班活動・異学年交流)による思いやりの心と自己有用感の育成
- ・仲間と協働し、認め合い学び合う学級づくり(構成的グループエンカウンター、ソーシャルスキルトレーニング等)

3 健康・安全意識の高揚と体力の向上を図る。

- ・メディアコントロールも含めた基本的活習慣の奨励(早寝・早起き、朝ごはん、靴そろえ、がんばりカードの活用)
- ・交通教室や様々な場面を想定した避難訓練(災害・不審者)による命を守る意識の高揚
- ・楽しく運動し、外遊びを奨励するための仕掛けづくり

4 家庭・地域との連携・協働による社会に開かれた学校づくりを推進する。

- ・地域行事への参加・参画を通じたコミュニケーション能力の育成と自己有用感の醸成
- ・地域の人材を活用した体験学習や交流活動の充実
- ・保護者、地域の理解を得た働き方改革の推進(登校時刻への協力、児童の地域行事参加への保護者支援等)